

日綜産業 横井橋補修工事でNSD

新潟県では初採用



横井橋



新潟市が発注する横井橋補修工事で、日綜産業(千葉市美浜区、小野大社長)の新システム在来吊り足場「New Standard Deck(ニュースタンダードデッキ、以下NSD)」が採用され、5月13日に現場見学会が開催された。NSDは新潟県

新潟市が発注する横井橋補修工事で、日綜産業(千葉市美浜区、小野大社長)の新システム在来吊り足場「New Standard Deck(ニュースタンダードデッキ、以下NSD)」が採用され、5月13日に現場見学会が開催された。NSDは新潟県

「ちよつぱい」システムで建設現場の働き方改革を推進する。専用の梁材、手すり材、吊りチェーンと、一般の床材や幅木などで構成される先行床施工システムを在来吊り足場で、同社主力製品「クイックデッキ」と同様の「先行床施工」を踏襲し安全性を確保。システム化された部材とシンプルで安全な組立手順により組立工数を短縮するほか、最大チェーンピッチ1800mm×3000mmと、最大積載荷重150kg/平方メートルにより広い作業空間を提供する。また、さまざまな現場に対応する「自由な設計」が可能で、従来の一般材を活用することで資材コストの削減にも貢献する。

同取組みは民間企業の保有技術を繋ぐマッチングの促進と、社会実装の啓発を目的とするもの。

見学会では、レックス新潟支店工事課の大越翼主任が工事概要を説明した後、NSDを使用した所感について「他の吊り足場に比べて吊りチェーンのピッチが広く、塗装の作業性および品質向上に寄与する。職人の移動に加え、資材の移動にも利点がある」と評価。また、鷹国建設の齋藤社長は「NSDは在来足場と違い、先行床施工のため安全に施工できる。さらに、設置と解体の施工スピードも速い」とNSDの優位性を説明した。

NSDは昨年8月にリリース。日綜産業が提唱する新しいカタゴリの吊り足場で、価格も性能も「ちよつぱい」システムで建設現場の働き方改革を推進する。専用の梁材、手すり材、吊りチェーンと、一般の床材や幅木などで構成される先行床施工システムを在来吊り足場で、同社主力製品「クイックデッキ」と同様の「先行床施工」を踏襲し安全性を確保。システム化された部材とシンプルで安全な組立手順により組立工数を短縮するほか、最大チェーンピッチ1800mm×3000mmと、最大積載荷重150kg/平方メートルにより広い作業空間を提供する。また、さまざまな現場に対応する「自由な設計」が可能で、従来の一般材を活用することで資材コストの削減にも貢献する。

定時社員総会を開催

PCM工法協会

一般社団法人PCM工法協会は5月19日、東京都内のミーティングスペースASP浜松町において令和8年度定時社員総会を開催し、約70名が出席した。冒頭、三ツ井達也代表理事は挨拶で「公共事業において維持管理の重要性が一層高まる中、将来を見据えた技術の重要性も増している。本協会はPCM工法を通じ、社会インフラの長寿命化と課題解決への貢献を目指していく」と述べた。

総会では、令和7年度の活動報告および収支決算、令和8年度の事業計画案ならびに収支予算案などの各議案について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。令和7年度は、PCM工法に関するマニュアル講習会やノズルマン育成研修会を実施するなど、施工



三ツ井達也代表理事

品質向上に向けた技術普及活動を推進した。また、日本コンクリート工学会年次大会への出展や大学・研究機関への研究助成にも取り組んだ。令和8年度は、施工管理技術者向け講習会や発注者・設計者向けマニュアル講習会の開催、建設技術フェアへの出展などを計画している。

さらに、超硬コンクリートや普通コンクリートに自己治癒材やPVA繊維を添加した実験では、水中養生条件下において透水量の低下やひび割れ閉塞効果が確認された。補強工法用PCM「マグネライン」についても、社会的ニーズの高まりを背景に、自己治癒技術の適用に向けた今後の展開が注目される。

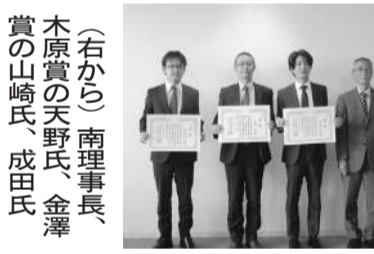
冒頭、南理事長は「木原賞は原則35歳以下の新進気鋭の研究者らに授与される賞、また金澤賞は原則55歳以下、優れた技術の取りまとめやリーダーとしての役割などを担う中堅の研究者らの活動を対象としている。各受賞者は先人の名を冠したこの賞にふさわしい技術者。この受賞を出发点とし、さらなる溶接界および産業界の発展に資する研究に邁進していただきたい」と挨拶した。

国土省BRIDGE採択

設計自動化など新規8施策

内閣府は総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)において、令和8年度の「研究開発とSociety5.0」の橋渡しプログラムとの橋渡しプログラム

研究開発型(8年度当初予算措置)には4施策が、システム改革型(7年度補正予算措置)にも4施策が選ばれ、予算配分額は合計で7億1600万円に上る。具体的には「地域インフラ再生戦略マネジメント」構築技術の自治体への社会実装や、XRAINを用いた局地的豪雨探知システムの高度化、道路インフラ・オープンラボ事業、土木設計データのパラメータ化および設計照査のオートメーション化に関する技術開発を推進していく。



(右から)南理事長、木原賞の天野氏、金澤賞の山崎氏、成田氏

溶接接合工学振興会

木原賞、金澤賞授与式を開催

溶接接合工学振興会(南三吉理事長)は5月13日、令和7年度木原賞および金澤賞の授与式を東京都千代田区の溶接会館で行った。

国土交通大臣・関東経済産業局長 認可

日本橋梁鉄骨事業協同組合

BRIDGE IRON COOPERATIVE UNION

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-17-6 デコムビル3F
電話(03)5820-2786 FAX(03)5820-9010
URL http://bicu.or.jp/

正会員	(株) あけぼの産業 (株) 旭ウエルデックス (有) 今村工業 (有) 岩城建設 (株) インテック (株) 内宮運輸機工 (有) 枝川建設 (株) NKライズ (有) エンジニアナカヒラ (株) 大隅機設 (株) 大瀧ジャッキ (株) OGISHI (株) オックスジャッキ (株) 金子運送 (株) 金子技建	(株) 金子建設 (株) 金澤組 (株) 唐澤組 (株) 関東油機サービス (株) 橋 栄 (株) 黒崎建設 (株) 建成工業 (有) 小杉架設 (株) 五月興産 (株) 三ブリッジ工業 (株) 島川工業 (株) 上州工業 (株) 親和架設工業 (株) 菅野工業所 (株) 誠架設工業	(有) 釧 翔 (有) 大日工建 (株) 鶴 屋 (株) トキワエンジニアリング (株) 東京フラッグ (有) 中建工業 (株) 長尾レッカー (株) 日動建設 (株) ニチワ (株) 浜田工業 (株) ヒロキコーポレーション (株) 平世美装 (株) 平和鉄構 (株) 本多工業 (株) 松田建設工業	(株) 丸和工業 (株) みなと (有) やじま組 (株) 八千代建設 (株) 山 建 (株) ワイエス架設
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

賛助会員 (株) 伊達プランニング (株) 日建リース工業 (株) 日綜産業 (株) トラフィックレンタリース (株) レンタルのニッケン (株) 杉 孝